

事業計画書

① 団体名	NPO法人吉備野工房ちみち		
② テーマ区分	指定テーマ (②③(①)) ・ 自由テーマ		
	該当するものを○で囲み指定テーマの場合は番号を記入してください。		
③ 事業名	備中神楽で楽しむ広がる役に立つ・開かれた地域と交流型観光資源開発事業	④これまで の採択回数	0 回 /
④ 現状及び課題	<p>(現状) 備中神楽は国と県の重要無形民俗文化財であるにも関わらず、岡山に生まれ住んでいても見たことがない方が多数いる。 ●一般の方が見ることのできる場所・機会は限られている (地域の祭祀で舞う割合が7~8割。祭祀自体も減少している) ●舞手(継承者)が少なくなっている (社会変化により、舞手の構成員の職業も自営業から会社員に変わってきており、舞手(継承者)と仕事を両立できる人が減少。神楽を知る入り口(機会)が減少し、舞手になろうという人が減少)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>(課題) 備中神楽の継承が難しくなっている。 定期公演をする場所もあるが、神楽を知る人、興味を持つ人の総数を増やすような仕組みが必要。</p> <p>・心の拠り所、土地に対する愛着、周囲との連帯感、神や自然に対する畏敬の気持ち等、人間が生きていくうえで大切な精神性を育んできた一つの場として祭祀や地域行事があった。伝承する必要がある。</p> <p>1) 先人が残してくれた「型」そのものが失われる。芸術そのものの役割の喪失。 2) 地域のコミュニティの維持や、団結や、再生する役割の喪失。 3) 家庭や学校以外の社会教育の場の喪失。</p> <p>・備中神楽や地域に根付く芸術文化伝統は再生の段階に来ていると思われる。現在の備中神楽の形を創った 西林 国橋(にしばやし こつきょう)さんも、時代に合わせて、そしてご自身の経験を合わせて、神話から演劇性の高い演目を創り入れたことで備中神楽を再編し、エッセンスはそこなわない形で再生、継承させた。時代変化に伴い、“受け継ぎ・発展させ・継承していく”その為の、新たな挑戦が必要である。そして備中神楽の本質的な精神性を損なわないように創意工夫し、改めて備中人が自身の地域を知り、誇りや自信を持ち、また同心円状に横と幅広く連携を取りながら、門戸を広げ、多種多様な人々に支えてもらえるような取り組みが必要と考える。神楽関係者と切磋琢磨しながら協力しながら、新しい備中神楽の再編、再生、継承を検討する。</p> <p>・教育、観光、福祉の点からも文化芸術が大きく役に立つ。柔軟な視点で、多層的な人が関りあえる文化プラットフォームを作るとともに、地域経済とも結び付けることにより、重要な役割を担えると感じている。</p>		

I クロスカルチャーKAGURAフェスティバル(仮)(年1回)
<文化融合から試みる地域のアイデンティティの再考を促す音楽融合フェスティバル>
我々現代人の生活は豊かになり、食文化、服飾文化、教育指導等、様々な手法に至るまで、多様な文化が簡単に行き来するようになった。本来日本は様々な文化を受け入れ、柔軟に発展させ、その時代にあわせて継承してきた土壌がある。こんなに恵まれた時代だからこそ、旧来の歴史や伝統やスタイルを大切にしながらも、和や洋、その他多様な文化がもつ美しさや意識を最大に尊重し、引き出し合い、新たな可能性を提示するクロスカルチャーKAGURAフェスティバルを開催したい。

他国の文化が行き来しやすい状況や過程において、一方では忘れられがちな日本伝統芸術・芸能を鑑賞する機会を創出し、郷土芸能にスポットを当てるとともに、多様(クロスカルチャー)な楽器を加えて神楽と合奏合演を鑑賞することによって、相対的な視点で自国の文化をお互いに発見、再認識したい。

<実施計画フェスティバル> 神楽とワールド民俗音楽

II 備中神楽を多層的に知ってもらう企画やイベント(年1~2回)
※今期は下記3)寄席備中神楽を実施予定。

<備中神楽ワークショップやイベント>

⑤ 事業内容

- 1) 他分野と連携して吉備の歴史文化伝統芸能を知る
民俗学者、歴史学者、学会と協力・連携して、神楽のはじまり等関連する吉備の歴史や文化を話していただいた後に、神楽ダイジェスト版を鑑賞してもらうイベント。
- 2) 神楽参加体験型イベント
・神楽で使う道具などをワークショップで一緒に作り、基本の型をポーズ練習して写真撮影をする等、まずは神楽に親しんでもらうイベント。
・備中神楽でしか舞われない「吉備津」という演目は、ここ吉備の歴史と深く関わっているのもので、教育現場の課外事業や、地域の歴史を知る一環として関連場所を一緒にめぐる“吉備津から辿る歴史探訪ウォーキング”。
- 3) 寄席備中神楽
長時間の通し神楽を室内で行う。寄席のように一日通し券として、演目を公開し出入り自由な神楽公演を開催する。日本庭園が望める開場の雰囲気をも高めるためお抹茶席を用意する。可能であれば寄席のように、お弁当や飲み物を提供する。

今年はいない

III 備中神楽と備中の歴史・文化を知ってもらう資料、写真、映像を制作

I・IIの事業から、備中神楽と備中の歴史遺産を重ねた短編集、有志を募って制作する。備中神楽を広く知ってもらう入口の資料

	<p>として、地元の方から海外観光客に至るまで、眼に触れる場所に配置、または映像を流してもらう。映像関連は未だ検討中ですが、人の成長にフォーカスしたドキュメンタリーのようなものを制作したい。（子供神楽をする子供さん等）</p> <p>IV 備中神楽の社中(支部)の横連携 今は舞われることが少なくなった演目や、一般の方が見る機会の少ない演目を共に学ぶ開かれた場をつくる。</p>
⑥ 事業目的 (目指す直接の結果)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業を通じて備中神楽を知ってもらう。他県から来訪してもらう。これまで備中神楽を見てなかった客層に来てもらう。→観光ツアーやルートに組み込まれる。 ・ 事業に関わった人や事業に参加した人が、備中神楽を通して地域を誇りに思い、地元を再度見直し、備中神楽に関わりたいたいと思ってもらう。備中神楽を好きになってもらう。
⑧今年度期待される成果 (短期アウトカム) その活動で得られる利益や変化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業に参加した人がSNSで備中神楽の魅力を発信する。発信したSNSなどを見て興味を持つ人ができる。 ・ 故郷の文化歴史に興味を持ち郷土の誇りや自信となるアイデンティティを認識、再認識する。 ・ 継承したいと思う芽が育つ。 ・ 参加した人の反応から備中神楽の保存・発展・継承のための方向性の示唆を得る。
⑨将来的に期待される成果 (中・長期アウトカム)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 備中神楽本来の本質的な良さを継承しながらも、新しい取り組みで国内外に備中神楽とは何か、また現在取り組んでいる内容、実際に見れる場所などを発信し、自由に出入りしやすいコミュニティ（定期稽古の自由見学、定期公演する場、歴史学者・民族学者との講演、よりパフォーマンス性を意識した神楽(他音楽とのコラボ、他分野芸術とのコラボ等)、学校での出前授業、福祉DAY(福祉施設利用者向け)のイベント、親子向けイベント、漫画で神楽紹介など対象を細かく分けて行う)をたくさん創り、備中神楽を再生させる。 ・ 備中神楽目的とする、観光客が増え、地域に新たな経済活動が生まれる。 ・ 備中神楽が次の役割を担う <ol style="list-style-type: none"> 1) 芸術そのものの役割 2) コミュニティの維持や再生のための役割 3) 教育、観光、福祉など、目に見える形で直接的に役にたつ役割 4) 社会的な孤立や孤独な境遇にある人たちとの社会接点となる役割
⑩翌年度以降の事業展開の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初年度の企画、イベント後の観客の声や反応を参考にしながら、取り組む内容を取捨選択(実施事業の必要性を参加者のアンケートや声から必要性の有無を確認し継続実施する内容を決定)し、国内外に様々な媒体で発信していく。 ・ 備中の参加体験型観光プログラムとして、県民局や関連行政機

	<p>関や民間企業と連携し、内容を組み立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育機関と連携し、年数回の行事や、課外授業、学童保育などで備中神楽を舞う機会を設け、神楽に触れる機会を増やし、伝統継承を行う。 ・今後連携しようとする団体の関係者などを招待したりなど営業活動も並行して進める。
<p>⑪事業実施に 関連する活動実績・アピールポイント</p>	<p>“みちくさ小道”というプロジェクトで、吉備で生活を営んでいる方々に焦点を当て“その分野の達人から教えてもらえる参加型交流プログラム”を実施してきた活動実績がある。その中でも、『備中神楽のお話と鑑賞「吉備津舞」』があり、神楽師の方が中心となり鑑賞会をしていただいた。いろいろなプログラムを展開してきたので、今度は核となるプログラムを中心に、これまで繋がった人や実施内容を再度組み立て、発展させることができると思う。歴史好きな人が備中神楽を始める、備中神楽をしている人が歴史を好きになる、ということも実例としてあるので、分野間交流ができやすく、お互いにとって活動している内容を多層的に広める助け合いができると思われる。</p>
<p>⑫想定される役割分担</p>	<p>【団体】 事業推進の実行。備中ネットワークづくり。</p> <p>【県民局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報支援。 ・過去の実績からの連携支援や、繋がり紹介。 <p>【その他】 備中神楽関係者、大学や学会などとも連携を図る。</p> <p>【理由・期待できる相乗効果】 備中県民局が掲げる基本方針の中に、“備中地域の特色や資源をいかした産業や観光の振興、伝統的町並みや文化遺産をいかした地域振興に積極的に取りくむこととし…”とある。また、“こうした取組を効果的に推進していくために様々な主体(市町村、県民、ボランティア、NPO、企業、大学等)と目標を共有し、「協働」しながら地域づくりに取り組む”という基本方針が、今回の事業“備中神楽で楽しむ広がる役に立つ・開かれた地域と交流型観光資源開発事業”の方向性と合うと考えている。 期待できる相乗効果としては、備中県民局が重点を置いて取り組まれてます主要事業との兼ね合いや相互調整を行なっていただくことによって、当法人では思いつかなかったアイデアや事業を協働できる機会が生まれ、地域活性化となる産業が生まれることを期待する。</p>

<記入上の注意事項>